

1 大会山域について

若杉山 (681m) は三郡山 (さんぐんさん) 系連峰の一つで、篠栗町、須恵町にまたがり、山頂付近には若杉山奥之院・太祖宮 (たいそぐう) があり、若杉林道周辺は樹齢 200 年を越える杉に覆われている。霊峰若杉山は、篠栗町、須恵町との町境で、古くからの山伏の聖域として、数百の僧坊 (そうぼう) があったと言われている。この若杉山の中腹に古堂 (ふるどう) と言われる場所があり、そこには昔「大講堂」が建てられ、多くの真言宗の僧侶が修行をしたと伝えられている。その「古堂」の奥の鬱蒼とした場所に、今でも「揺るぎ岩」と言われる背丈を越えるほどの大きな岩がある。

宝満山は古くから霊峰として崇められ、山頂の巨岩上に竈門 (かまど) 神社の上宮があり、全山花崗岩で、英彦山、脊振山と並ぶ修験道の霊峰である。山頂の眺望は抜群で視界がよければ英彦山・古処山・馬見山・くじゅう連山・雲仙岳まで遠望できる。

宝満山は別名で、筑紫野市の二日市方面から望むと「笠」の形に見えることから「御笠 (みかさ) 山」とも呼ばれ、ふもとには日本書紀にも記される三笠の森の史跡がある。また、九合目にある竈門岩、もしくはカマドのような形をしていて、常に雲霧が絶えず、それがちょうどカマドで煮炊きをして煙が立ち上っているように見えることから「竈門山」といわれる。

宝満山を水源とする河川には博多湾に流れる御笠川、多々良川に合流して博多湾に流れる宇美川、筑後川に合流し有明海に流れる宝満川がある。

一本松公園 (昭和の森) は糟屋郡宇美町大字宇美字正楽にあり三郡山の麓、標高 300 m にある森林自然公園である。福岡県森林浴 100 選にも選ばれ、春から初夏にかけて桜、つつじ、ツクシシャクナゲ、秋は紅葉、冬は椿などが咲く。

河原谷 (ごうらだに) 溪谷を登れば、標高 720 m 付近の難所ヶ滝 (なんしょがたき) にたどり着く。1 月から 2 月にかけて、岩から染み出た水や雪が融けた水が岩肌をつたいながら凍って氷結し、寒気が強まる時期が続くと高さ 20 m もの見事な大つららになることもある。

2 荒天対策

- (1) 荒天の為、全ルートを登山する事が不可能な場合は若杉山を往復する。
- (2) 当日状況を判断し本部より指示を行う。

3 大会コースのルートガイド

楽園キャンプ場の車道を山頂目指して出発するとすぐに右側にある歩道を進む。山頂までの車道の区間は杉林になっている。しばらく進むと左に米の山、直進荒田 (あらた) 高原、右に若杉山の十字路になるので右に進む。山頂に向かって進んでいくと無線中継所がある**若杉山**に到着し、ここから本格的な登山道となる。周辺にはシャガが 5 月には咲く。



若杉山頂までの登山道 (十字路)

今回の大会ルートを一望できる若杉鼻を通過すると急な下りなるので注意して通過する。その後数回のアップダウンを繰り返し山小屋の横を通過するとショウケ越に到着する。ここに架かる陸橋は現在使用禁止なので左側から県道60号線へ降りて行き、走行中の車に注意して横断し陸橋の南側へ進む登山道に入る。

ここから鬼岩谷(きがんだに)と呼ばれる773.8mピークまでは長い時間の登りとなる。

また、林道が整備されつつあるので登山道と間違えないように登って行く。鬼岩谷に到着すると右に宇美町方面への分岐があるが南側の縦走路を進んでいく。

一度高度を下げ再び登っていくと828mの砥石(といし)山、途中ススキの草原と山頂付近のミツバツツジの群生を通過しながら草原状の山頂になっている前砥石山に到着。他にツゲやヤマボウシ・シロモジも見られる。ここからは南側及び西側の展望が開けている。縦走路をそのまま進んでいくと左側に三郡山方面、右側に内畑ルートと書かれた内ヶ畑分岐を右側に進み昭和の森へ進む。

しばらく下って行くと林道経由と昭和の森分岐に分かれるので左側の昭和の森方面へ進む。

このまま昭和の森を目指して進んでいくと昭和の森登山口に到着し車道となる。

ここから10分程車道を下って行くが一般の公園利用者の方と車に注意して下山する為、時間に余裕を持って通過する事。

一本松公園(水遊び場)と呼ばれる車道の左右に駐車場がある地点をゴールとする。



ショウケ越の陸橋を左から降りる



内ヶ畑コース分岐



林道経由と昭和の森



内ヶ畑登山口